

## 人物図鑑

ねむろを愛する  
素敵な人たち

「かろやかなステップと

音色が響いた晴れ舞台」

タップダンスサークル n-TAP

能崎のさき有樹ゆきさん  
(33)

「快い汗を流せました。」と、満面の笑顔を見せるのは、総合文化会館大ホールでの舞台を終えたn-TAP代表の能崎有樹さんです。2月24日に開催された「みんなでオンステージ」に初出演となったn-TAP。メンバー3名の華麗なタップダンスの披露に、大きな拍手が送られていました。根室ではあまり接する機会のないタップダンスですが、能崎さんは以前からタップダンスに興味を持ち、指導者を探していました。ちょっとした仲間との交流から指導者がいるという話を耳にした能崎さんは、これを機にさっそくサークルを立ち上げました。

「何事も、目標を持つことは大切です。一からの練習でどこまでできるかわかりませんでした。今回のステージはさまざまなジャンルの方々の参加ということもあり、肩の力を抜いたステージを、会場に来た皆さんに楽しんでいただければと練習を重ねてきました。」週に一・二度の練習で2年間かけてマスターしたかろやかなステップは、会場の皆さんの心にも響いたようです。

体を動かしながらステップを踏むことはバランスを取るだけでも難しく、リズムとステップが一体になったときには、何とも言えない喜びが湧いてくると言います。

大切に磨き込んだシューズを手には、笑顔で語る能崎さんからは、タップダンスに対する情熱と楽しさが感じ取られます。

「このステージが、単に私たちの発表の場と考えるのではなく、会場に足を運んでくれた皆さんと、一緒に作り上げるものになっていければと思います。気軽に声を掛け合い、笑顔を交わすきっかけとなる「みんなでオンステージ」であるように、来年の参加に向けてまた頑張ります。」

今年で7回目を迎えた「みんなでオンステージ」が、着実に地域の人と人とのつながりをはぐくんでいることを、能崎さんの笑顔が教えてくれました。